

子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

第98号

発行元 子ども多文化共生センター TEL 0797-35-4537

発行日 2026(令和8)年5月21日(木)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま
(イメージキャラクター)

子ども多文化共生センターがある芦屋市には、有名な小説家・谷崎潤一郎の記念館があります。もともと東京に住んでいた谷崎潤一郎は、大正時代から阪神地区に移り住みました。そして、その阪神地区での生活をもとに昭和の初めに小説『細雪』を書きました。『細雪』の主人公の家族の家は芦屋にあり、その隣にはドイツ人の家族が暮らしています。『細雪』には、日本人とドイツ人家族の子ども同士が仲良く遊んでいることも書かれています。このように、大正時代から昭和の初めの頃の芦屋は、日本と西洋という異なる文化が共生した町の1つでした。この頃の阪神地区の文化は「阪神間モダニズム」と言われています。『細雪』には、その町の様子が表れています。このように、昔から芦屋は多文化共生の町でした。そんな芦屋に子ども多文化共生センターがあることには、積み重なった歴史を感じます。

さて、みなさまのおかげで、子ども多文化共生センターは創設23年目を迎えることができました。多文化共生社会を実現するため、県民のみなさまが気軽に相談できる身近な場でありたいとの考えのもとで活動しています。子ども多文化共生サポーターの派遣、多言語相談員の派遣に関することや外国人児童生徒等の教育及び進路についての相談、多文化共生教育に役立つ書籍や民族衣装、楽器等の貸し出し、ボランティアの紹介などを行っています。今年度も多文化共生にかかわる情報を発信し、外国人児童生徒等が自己実現を図り、共生の心を育む手助けとなるよう積極的に取り組んでまいります。

子ども多文化共生センターはどなたでもご利用できます。気楽にいつでも足を運んでいただけたらと思っています。みなさまのお越しを心からお待ちしています。

子ども多文化共生センター所長 東内 淳

民族衣装や楽器を使いたいなあ…

進路のこと聞きたいなあ…

保護者の通訳、困ったなあ…

ボランティアしたい!

日本語の指導方法は?

学校への受入れは、どうしたら?

「子ども多文化共生センター」 にお任せください!

子ども多文化共生センターキャラクター「テラたま」

阪神打出駅から南へ
徒歩13分(900m)。

阪神芦屋駅・JR芦屋駅・
阪急芦屋川駅から 阪急
バス「芦屋浜営業所」下
車、すぐ東隣。





◎ポケットーク貸し出します。

88の言語に対応した自動翻訳機ポケットークを県内の公立学校（神戸市立除く）に貸し出しが可能です。これまでにいくつかの学校に利用していただき、スムーズな意思疎通に役立ったと感想をいただいております。ポケットークの貸し出しを希望される方は、センターまでご連絡ください。

★「外国人児童生徒等にかかわる就学支援ガイダンス」を実施します！

市町教育委員会や関係機関・団体と連携して「就学支援ガイダンス」を実施します。小学校や中学校に通う外国人児童生徒等や保護者の方々にぜひご紹介ください。

- (1) 神戸会場 2026年7月11日（土）PM2:00～PM4:30／神戸市総合教育センター
申込締切日：2026年6月26日（金）
- (2) 加古川会場 2026年7月25日（土）PM2:00～PM4:30／SHOWAグループ市民会館
申込締切日：2026年7月10日（金）
- (3) 西宮会場 2026年8月1日（土）PM2:00～PM4:30／西宮市役所東館
申込締切日：2026年7月17日（金）
- (5) 姫路会場 2026年8月30日（日）PM2:00～PM4:30／姫路市市民会館
申込締切日：2026年8月17日（月）

◆申し込みフォーム（10か国語対応）

日本語、ベトナム語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ネパール語。
※上記言語に対応した案内リーフレットはセンターHPに掲載されています。



今年度の子ども多文化共生センターは、

主任指導主事 ^{みたに おさむ} 三谷 修、コーディネーター ^{たぬま まみこ} 田沼 真美子 が担当します。

みなさまに気軽にご利用いただけるようなあたたかな雰囲気作りをしていきたいと思っております。ご支援とご協力をお願いします。



子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL：0797-35-4537 FAX：0797-35-4538 E-mail:mc-center@pref.hyogo.lg.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。